

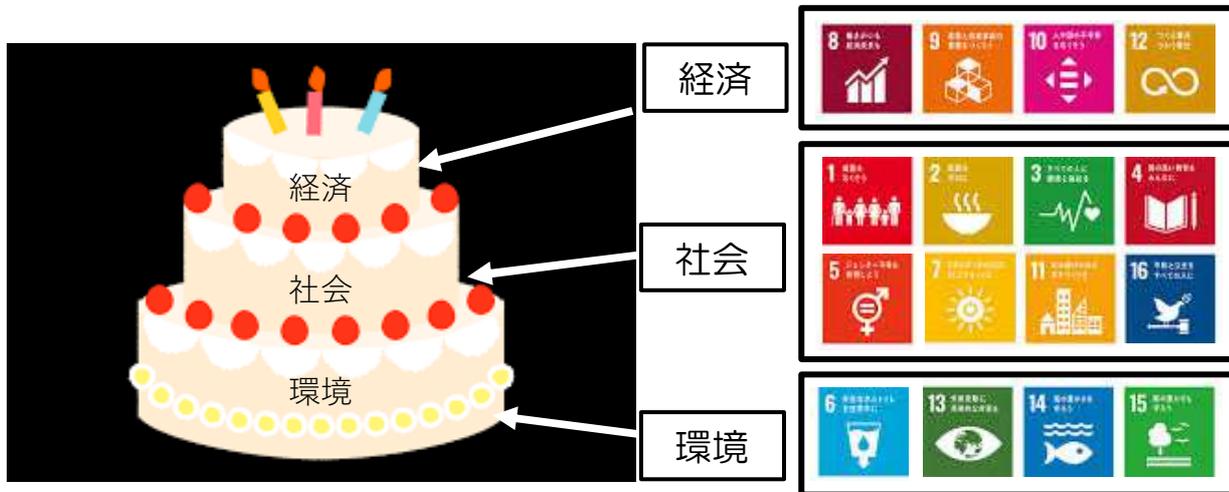


2021.8月号

SDGsパート2

SDGsの目標を分類して、関係性をとらえる

SDGs=Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）について、17の目標の関係性をとらえるための考え方の1つに、「SDGsウェディングケーキモデル」があります。



この考え方では、環境、社会、経済の3つの分野について、環境の上に社会、社会の上に経済を置いています。つまり、自然からの恵みによって社会や経済が支えられていることを示しています。

環境は経済や社会が発展していくための重要な土台であり、環境が破壊されれば、連鎖して社会は不安定になり、経済活動も立ちゆかなくなっていくでしょう。

そのため、地球環境を守ることは、わたしたちの社会や経済が安定して発展していくために、最も優先して取り組んでいく必要のある課題だといえます。

	目標6：全ての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
	目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
	目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全する
	目標15：陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理

8月スケジュール

- 8月 7日（土）月例テスト8月号
- 8月10日（火）北海道学力コンクール（中3以外）
- 8月11日（水）北海道学力コンクール（中3のみ）
- 8月28日（土）日本漢字能力検定

↓過去の情熱通信はこちらから！



がんばってこいよー

北海道に発令された緊急事態宣言に伴い、市内の各小学校の運動会が7月から規模を縮小して実施されています。そんな中、我が子が通う小学校では、10月に実施されるようです。10月に運動会！？北海道では考えたこともなかった時期ですね。防寒対策を例年以上にしっかりと見に行きたいと思います。

さて、運動会などの行事ごとの時に子供たちに「がんばってこいよー」などといった声をついついかけてしまいがちです。私が小学生のときには「余計に緊張するからやめて…」などと思ったこともありました。

子供たちの頑張る姿を見ることが出来る運動会は、親にとっても楽しみな行事。その行事をより子供たちが力を発揮できる言葉は「がんばってこいよー」以外に何かあるのか。私は「楽しんでこいよ」と毎年、声をかけています。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

8月といえば

8月の和風月名は、葉月（はづき）です。

“8月といえば〇〇”に入る言葉や事柄をアンケートの上位から上げたいと思います。過去5年に新聞各紙に掲載された回数が多い順にランキング形式でご紹介します。順位「8月といえば」掲載回数1位「甲子園」でした。高校球児が全力で戦う姿は本当に感動しますね。2位「夏休み」子どもたちが待ちに待っていた夏休みが堂々の2位でした。

（わかりますね）3位「プール」北海道の子どもにはあまり縁はありませんね。4位「帰省」今年もコロナで帰省が難しいですね。5位「熱中症」6位「花火大会」7位「海水浴」8位「お盆」9位「夏祭り」10位「浴衣」となっています。あなたの一番は？

釧路春採SC教室 安田 光則 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

イマジナリー親知らず

現代では生えない人もいる親知らずですが、10年近く前に私には4本とも揃っていることを確認し、痛みあまり2本抜きました。

先日、右の上下にある親知らずが原因と思われる激痛に、急ぎ某大学の歯科クリニックに行ってきました。歯茎の奥の硬い感触と、右下の奥歯が横から押される感触もありましたが、レントゲンで右上と左下しか残っていないことが判明しました。以前抜いたうちの1本が右下だったのです。痛みの原因は上の親知らずが伸びてきて噛んでしまったことだろうとのこと……ないもの探しに衛生士の方々を巻き込み、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

なお、もはや見過ごせない右上の親知らずは近々（情熱通信が発行される頃までには）抜きます。私の静かな時期がありましたら、お察しください。

当別教室 平山 由香利 Tel 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

プログラミング

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化し、21年度からは中学校でプログラミングの内容が拡充されます。22年度には高校で必修科目として「情報I」が新設され、25年から大学入学共通テストで「情報」が基礎科目となります。情報教育はもう避けて通れないものになっています。

私自身ITの知識が重要であると分かっている、強い危機感を持っていなかったんですが、先日観たTV番組によって考え方が一変しました。そこでは未来の戦争は、知らないうちに始まり、気が付いたら敗戦国になってしまうと警告しています。巷で話題のフェイクニュースやハッキング事件は既に戦争が始まっている合図かもしれません。IT関連の知識と膨大な情報から正確な情報を見抜く力を身に付けなければならない時代は既に始まっています。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

学び続ける時代(後編)

先月号では男女間格差についてお話をしましたが、それに限らず、日本が変化を迫られている分野は少なくありません。キャッシュレス化やIT化、カーボンニュートラルに対する取り組み……。時代が変われば、そこにある価値観も変容します。昨日まで役に立った考え方は、すぐに古臭いものになってしまいます。生徒たちがこれから向かおうとしている世界は、そんな世界です。もしかしたら、彼らが大人になる頃にはもっと変化の速さが大きくなっているかもしれません。そのような時代は、まさに人類にとって「学び続ける時代」だと言えるでしょう。新しいことを学び続ける人や好奇心の強い人が活躍し、そうでない人が平気で取り残される時代です。その格差がこれまでにないほどに大きくなる時代です。いかに学ぶことの楽しさを子どもたちに伝えるか。それが我々の使命であると感じます。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

変わる公立高校入試

現在の中学三年生が受験する令和4年度入試より、1.学校裁量問題が廃止され、全受験生に同一問題が課せられます。2.各教科の配点は60点から100点に、検査時間は45分から50分に変更されます。3.英語の聞き取りテストは、配点が全体の30~35%に増えます。裁量問題は廃止されるとはいえ「思考力、判断力、表現力などについてもバランスよく出題」とありますので、けっして難易度自体は下がるわけではなく、出題数が増えること、今まで以上に得点差が広がるのが予想されます。コロナ禍、何もかもが自粛ムードですが、入試ばかりは待ったなし。ルール自体が変更されるわけですから、新しいルール下で最大の結果を出すべく、先手・先手で動きましょう！～先んずれば即ち人を制し、後（おく）るれば則ち人の制する所と為る～

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏